



年 組 名前

道新ワークシート

公園にバスケットゴール増やして

「小中学生の意見もまちづくりに反映してほしい」と話すAさん。
陳情後に見学した本会議場で（家族提供）

中3 Aさん 市議会に陳情 「若者の声反映を」



3月末に閉会した定例札幌市議会の建設委員会で、市内の中学生が、公園整備に若者の意見を取り入れることやバスケットゴール増設を求める陳情を提出した。議会事務

局などによると、未成年による陳情の提出はかなり珍しいといい、市は今後、若年層の意見を聞く方法を検討する考えだ。「多くの人が利用する公園整備の協議に若年層の意見が少ないのではないか」。北海道教育大付属札幌中3年のAさん(15)は、3月下旬に開かれた同委の陳情の趣旨説明で疑問を投げかけた。自身も取り組むバスケットのゴールが市内の公園では少ないという。整備にはコストがかか

ることは理解するとし、「行政が民間企業と連携し、商業施設での整備やアートと融合したバスケットコートなど、文化とスポーツが楽しめる地域づくりをしてはどうか」と要望した。審査は賛成多数で継続となり、引き続き議論することになった。市建設局によると、バスケットゴールは公園24カ所に計34基あるが、近隣住民から騒音の苦情があり、過去10年間で15カ所の16基が撤去され、住宅密集地から離れた郊外の設置が多い。一方、住民の意見を反映する協議手法は、地域の町内会に意見を聞くのが中心だという。同局は「子供たちの意見は少ない現状がある」とした上で「今後はより効果的な意見収集の方法を検討したい」と話した。委員会後、Aさんは「若者の声も聞いて政策に生かしてほしい」と訴えた。同委員会委員長の小形香織市議は「少子高齢化が進み、陳情で子供の意見を聞くことは少ない。われわれ議員も若年層に『まちづくりのため声を上げて』と伝えていく必要がある」と述べた。（蒲生美緒）

2025年 4月5日(土) 朝刊 札幌市内版 12ページ (記事は再編集しています)

(1) Aさんはどのような陳情を市議会に提出したのか、記事から探して書きなさい。

※陳情：国や地方公共団体などの公共機関に対して、実情を訴え、一定の措置を行うよう（または行わないよう）要望する行為

(2) あなたが住んでいる地域の課題を、地方議会に提出するとしたら、どのような内容が考えられるでしょうか。